取扱説明書

DAYTONA corp.

75694①/⑦

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

	適応車種	商品NO.
COOLROBO ST	汎用	75694

■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。	水ぬれ禁止	表記の禁止行為を告げるものです。

⚠警告

禁止

- 本製品を自動ドアや火災報知機などの自動制御機器の近くでは使用しないでください。電波の影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内、空港敷地内、中継局周辺では絶対に使用しないでください。運行の安全、無線局の運用や放送送受信に支障をきたす恐れがあります。
- 病院等の医療機関では電源を切ってください。医療向け計測器、心臓ペースメーカーの等の近くでは使用しないでください。医療機器へ悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 高温多湿になる場所、熱器具等の近くでのご使用や放置は避けてください。本体の変形、発熱、発火、破裂、感電、故障の原因になります。
- 濡れた手で触れないでください。感電やケガの原因になります。
- 分解、改造、修理をしないでください。火災、怪我、感電、故障の原因になります。修理の場合は、弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 布などでおおわないでください。加熱による火災やケガの原因になります。
- 油類を付着させないでください。ガソリンやオイル等が付着すると、表面の劣化や故障の原因になります。
- レシーバー本体に手を掛けてヘルメットを持ち運ばないでください。レシーバー本体を破損させるばかりでなく、レシーバー本体が外れてヘルメットを落下させる恐れがあります。
- 接続コネクターは、コネクターを持って確実に抜き差ししてください。ケーブルを引っ張るとコネクターの破損やケーブルが断線する原因になります。

実施

- 本製品をお使いになる場合は、本製品を接続する機器などのメーカーが指示している警告、注意を厳守し、正しい方法でお使いください。
- 発煙または焦げ臭い匂いなど、異常状態のまま使用しないでください。感電や火災の原因になります。直ちに使用を中止、または充電を止めてください。
- 音量は適度な大きさでご使用ください。耳に傷害をおこす恐れがあります。
- 走行中の音量は、周囲の交通の音が聞こえる音量でご使用ください。事故の原因になります。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。故障の原因になります。
- 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所へ避難してください。落雷や感電に見舞われることがあります。
- 運転中にスイッチの操作や、音量調整等は大変危険です。絶対に行わないでください。スイッチ操作や、音量調整をする場合は、必ず車両を安全な場所へ停車(駐車)してから行ってください。交通事故の原因になります。
- ケーブル類は、運転の支障のないように、引き廻しを行ってください。運転操作の妨げになるばかりでなく交通事故をおこす原因になります。
- 音量の調整をおこなっても「聞こえにくい、聞こえない」等の症状がある場合、スピーカー位置の不良や乾電池の消耗が考えられます。スピーカーの位置調整または、バッテリーの充電をおこなってください。
- 本製品を取り付けた状態でヘルメットを置く際は、本体に衝撃を与えないように注意してください。
- 付属の充電用ケーブル以外では充電をしないでください。故障や火災の原因になります。
- 充電器は付属しておりません。別途お買い求めください。

法令違反

- 運転中のご使用に関しましては、事前に使用する地域の法律条例等をよくご確認ください。
- 本製品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。日本国内以外で使用する場合、使用する国の電波法に従い利用してください。

その他

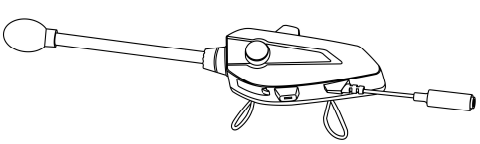
- 本製品は防水性を考慮した設計となっておりますが、完全防水仕様ではありません。雨天時の長時間の使用はご遠慮ください。故障の原因になります。
- 水がかかる場所への放置や水没はさせないでください。また、濡れた手で接続端子等の脱着は行わないでください。本体の発熱、発火、破裂、感電、故障の原因になります。
- 水の浸入による故障等は、保証対象外とさせていただきます。予めご了承ください。
- 幼児の手の届かない場所へ保管してください。付属品を誤って飲み込んだり、怪我の原因となります。

- 本製品を定期的に充電してください。本製品を長時間使用しない場合でも、１ヵ月に１度を目安に充電を行ってください。本製品を使用、もしくは充電せず、長時間保管していた場合、バッテリー性能は劣化します。
- 本製品はリチウムイオンバッテリーを使用しております。リチウムイオンバッテリーは、特性上３００回程度は繰り返し充電が可能ですが、それ以降は徐々に性能が低下するため、使用時間が通常の半分程度になりましたらバッテリーを交換する必要があります。
- お手入れの際や充電完了後は、安全のために必ずＵＳＢソケットから充電器を抜いてください。
- 本製品に作動対応している携帯電話機や音楽プレーヤー等以外の機器に接続しないでください。本製品または接続している機器の故障の原因になります。

本商品の特徴

- 市販の Bluetooth 搭載ポータブルオーディオやナビ、レーダーをワイヤレスで接続が可能。
- 小型で薄型のスピーカーを採用し、接続機器がステレオ対応機器であればステレオ再生が可能。
- 使用時間は、音楽連続再生で８時間以上可能。
- フルフェイス、ジェットヘルメットともに無加工で取り付け可能。※一部の外国製ヘルメットを除く。
- プロファイルは、HSP、HFP、A2DP、AVRCP に対応。
  ※プロファイルが一致している Bluetooth 機器であっても接続できない場合があります。
- 突然の雨にも安心な防滴仕様。(IPX５相当)
- Bluetooth 規格 Class2 出力で通信距離は、見通し距離約１０m程度。
  ※使用する環境や走行条件によって変化します。
- 弊社製オートバイ用レーダー探知機 MOTO GPS RADAR/ＬＣＤ(品番：73344/77777)とワイヤレス接続が可能。

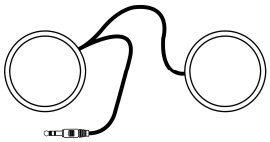
商品内容



・レシーバー本体(１個)

・充電用ケーブル

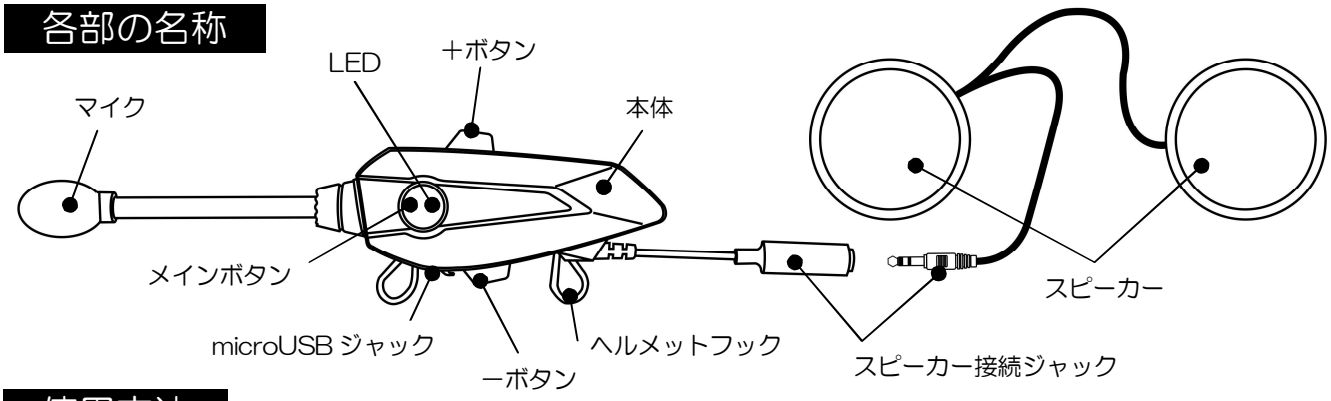
・スピーカー位置調整用
スポンジ(２個)



・スピーカー(1 セット)

・スピーカー固定用
面ファスナー(2 セット)

各部の名称



使用方法

1.充電をする

はじめにＣＯＯＬＲＯＢＯ ＳＴを充電してください。充電中はＬＥＤが赤く点灯し、充電が完了するとＬＥＤは消灯します。

・ＵＳＢケーブルをＰＣもしくはＡＣ充電器（出力 DC5V）等に接続します。

・次にＣＯＯＬROBO ST 本体の充電用 microＵＳＢジャックへ接続します。

⚠注意

※接続する機器によっては、充電時間が長くなる場合があります。また、ＰＣの仕様によっては充電ができない場合があります。

2.ヘルメットへの取り付け

・ヘルメット左右の保護パッドを取り外し、スピーカーがヘルメットを被った時に耳の位置にくるようにスピーカー固定用面ファスナーで固定します。(図１参照)

⚠注意

※スピーカーが耳から離れると音声の聞こえが悪くなります。使用するヘルメットに合わせてスピーカー位置調整用スポンジを使用してスピーカーが耳へ近づくように位置を調整してください。

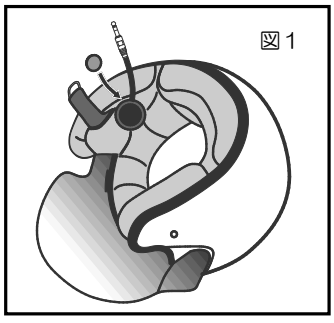
※内部に耳当てがあるタイプのヘルメットでは、スピーカーを内装に組み込むことにより違和感がなくなる場合があります。(図２参照)

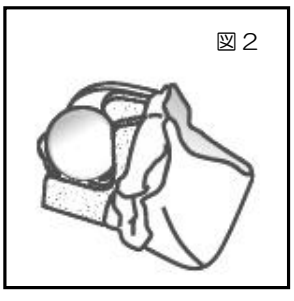
・レシーバーをヘルメットの左側へ、ヘルメットフックでヘルメットへ固定します。(図３参照)

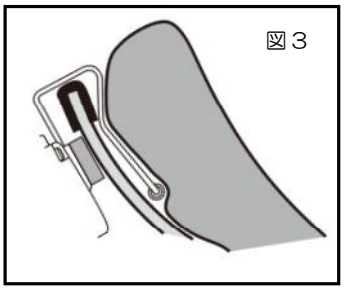
・レシーバーとスピーカーのジャックを接続し、ヘルメットの保護パッドを取り付けます。

⚠注意

※レシーバーとスピーカーのジャックの接続部分は防水仕様になっておりません。ジャック接続後はヘルメット内部に入れるようにしてください。







3.操作方法

【電源 ON】電源が OFF 状態の時、「電源が入りました」と聞こえるまでメインボタンを約３秒間長押しします。（LED：青色が２秒点灯後１回点滅）

⚠注意※約６秒間長押しすると、ペアリングモードになります。

※電源がＯＮの状態でも接続機器と未接続の状態が３分間経つと自動的に電源がＯＦＦになります。

【電源 OFF】電源が ON 状態の時、「電源を切ります」が聞こえるまでメインボタンを約３秒間長押しします。（LED：赤色が２秒１回点灯）

【ペアリング】

1.電源が OFF 状態からメインボタンを「ペアリングしてください」と聞こえるまで約６秒間長押ししてください。（LED が赤と青の交互点滅）

⚠注意※LED が赤と青の交互点滅になっていればペアリングが可能な状態です。

2.ペアリングをしたい機器をペアリングができる状態にします。

⚠注意※詳細は接続する機器の取扱説明書を参照するか、販売店または販売元へお問い合わせください。弊社商品以外の機器につきましては、お問い合わせいただいてもお答えできかねます。予めご了承願います。

3.しばらくしてからスピーカーより「ペアリング完了」「接続されました」と音声が聞こえ、LED の点滅が、赤と青の点滅から青だけの点滅に変化したらペアリングが完了です。

⚠注意※LED の点滅が赤、青の交互点滅から青のみの点滅に変化しても接続していない場合やスピーカーより「ペアリングができません」の音声が聞こえた時は、ペアリングの操作を最初からやり直してください。

※LED の点滅が赤、青の交互点滅になって２分を経過してもペアリングができない場合は、「ペアリングができません」の音声の後、接続待機状態になります。待機状態のまま３分間経つと自動的に電源が OFF になります。自動的に電源がＯＦＦなった場合は、最初からペアリング操作を再度行ってください。

※接続する機器によって、機器名称の選択とパスキーを要求される場合があります。その場合は、下記を選択および入力をお願いします。

機器名称：「ＣＯＯＬＲＯＢＯ_ＳＴ」

パスキー：「0000」（ゼロ４つ）

※本製品に接続可能な Bluetooth 機器は、パスキー「0000」のみです。また、パスキーが「0000」であってもプログラムによって機能が制限されたり、不安定な作動や接続ができない場合があります。

【２台目のペアリング】

１．１台目の機器と接続が終了したら１台目に接続した機器と本製品の電源を OFF にします。

２．２台目に接続したい機器と本製品をペアリング手順に従い接続します。

３．２台目に接続した機器と本製品をそのままの状態（電源 ON）で１台目に接続した機器の電源を ON にします。

４．１台目の接続機器と本製品との接続操作をします。

※接続する機器の仕様により接続操作をしなくても自動的に接続される場合があります。

【電源ＯＦＦ後の再接続】

電源をＯＮにすると自動で接続され待受け状態になります。接続が完了するとスピーカーより「接続されました」の音声が聞こえます。

接続機器との通信が切断されるとスピーカーより「接続が切れました」と聞こえます。ヘッドセットに機器が接続されない状態が続くと「接続ができません」の音声が２回スピーカーより聞こえます。

⚠注意※接続機器によっては、再接続に約１～２分程度かかる場合があります。また、再接続できない場合は、再度電源を入れ直すかペアリング操作を行ってください。

※ミュージックプレイヤーとの再接続は、機器により自動再生したり、自動再生できない場合があります。

※接続機器がＯＮの状態で電源のＯＮ/ＯＦＦを行う方が比較的短時間で再接続が可能です。

※接続する機器によって切断時の音声「接続が切れました」「接続ができません」がしない場合があります。

【ボリュームの調整】

音楽や音声案内がスピーカーより聞こえている時に、＋ボタンを短く押すごとにボリュームアップ、－ボタンを短く押すごとにボリュームダウンします。ボリュームは、１０段階で変化し、最大と最小をビープ音でお知らせします。

⚠注意※音量の調整は、運転中に周囲の音が十分に聞こえる適度な音量に設定してご使用ください。大音量で使用しますと、周囲の音が聞こえず事故の原因になるばかりでなく、耳を痛める場合があります。

※ボリューム最小時のビープ音は、ボリュームとともにダウンしますので静かな場所でないと聞こえない場合があります。

【ミュージックプレイヤーのコントロール】

接続するミュージックプレイヤーが AVRCP プロファイルに対応しているミュージックプレイヤーの場合、再生、停止、曲送り、曲戻しが可能です。

1.接続待機中にメインボタンを短く１回押すと、音楽が再生します。

2.音楽再生中にメインボタンを短く１回押すと、再生中の音楽が停止します。

3.音楽再生中に＋ボタンを２秒間長押しすることで曲送り、－ボタンを２秒間長押しすることで曲戻しが可能です。

⚠注意※接続機器によっては、機器の特性・仕様・設定・使用状況等により操作方法が異なる場合と機能が使用できないことや、作動不良、作動が不安定になる場合があります。

【電話を受ける】

スピーカーより着信音がしたらメインボタンを１回短く押します。

⚠注意※接続する携帯電話が Android やー部の機種は、携帯電話に設定している着信音では無く本製品の電子音が鳴ります。

【電話を切る】

通話中にメインボタンを１回押すと「通話終了」の音声が聞こえて通話が終了します。

【着信した電話を拒否する】

スピーカーより着信音がしたらメインボタンを２秒間長押しすることで着信拒否することができます。

【リダイヤルする】

待機状態からメインボタンを２回連続で押すと、最終発信履歴の番号へリダイヤルすることができます。

⚠注意※２台の携帯電話を接続している場合は、接続時に最終発信した携帯電話の最終発信履歴へのリダイヤルになります。

※携帯電話の機種により連続してリダイヤルができない場合があります。リダイヤル機能が作動しなくなった場合は時間をおいてから再度操作をしてください。

【携帯電話の２台使用について】

通話中にもう１台の携帯電話に電話がかかってきた場合には、ヘッドセットから電子音が鳴り電話がかかってきたことがわかります。この時にメインボタンを１回押すとかかってきた電話に出ることができます。この時、元々の通話中の電話は保留となり、相手にはこちらの声が聞こえない状態になります。後からかかってきた電話の通話が終了し、最初に通話していた電話が保留状態であれば自動で最初の携帯電話の保留が解除され通話状態になります。

【携帯電話のボイス機能を使用する】

携帯電話と接続待機中に携帯電話のボイス機能（iphone の Siri 等）を起動することができます。

1.待機中に＋ボタンとーボタンを同時に１回押します。

2.携帯電話のボイス機能が起動します。

※終了するには、もう一度＋ボタンとーボタンを同時に１回押します。

3.マイクに向かって話します。

⚠注意

※携帯電話がボイス機能に対応していない場合は使用することができません。詳細は接続する携帯電話の取扱説明書を参照するか、携帯電話の販売店または販売元へお問い合わせください。

【オールリセット】

次の操作を行うことで、本製品へ登録されたペアリング機器をリセット（工場出荷状態）することができます。

1.レシーバーの電源がＯＮで未接続の状態で＋ボタンとーボタンを同時に約５秒間長押しし、スピーカーより「プープー」とビープ音がしたら＋ボタンとーボタンから指を離します。

2.ＬＥＤが青点滅をしている状態からメインボタンを約３秒間長押しして電源をＯＦＦにします。

3.再度電源をＯＮにした際にＬＥＤが電源ＯＮと同時に赤と青の交互点滅になり、「ペアリングしてください」の音声が聞こえればオールリセット済みです。

・操作一覧表

機能		操作	結果
電源ON		電源がOFFの状態からメインボタンを3秒押し続けます。	「電源がＯＮになりました」と音声が鳴り青色LEDが点灯。その後待機状態になり、青色のLEDが４秒間おきに２回点滅し続けます。
電源OFF		電源がＯＮの状態からメインボタンを３秒間押し続けます。	「電源を切ります」と音声が鳴り赤色LEDが２秒点灯します。
ペアリング		1. 電源OFFの状態からメインボタンを6秒間押し続けます。	赤色、青色LEDが２分間交互点滅をします。
		2. 携帯電話のBluetooth機能設定にて接続可能な機器を検索します。	使用する携帯電話の取扱説明書を参照。
		3. 携帯電話の画面に検出した機器の一覧が表示されます。	接続する機器が近くにあっても機器の検出に時間がかかる場合があります。
		4. 「ＣＯＯＬＲＯＢＯ_ＳＴ」を選択します。	接続が完了するまでに時間がかかる場合があります。
		5. 携帯電話の画面でパスキーを要求された場合は「0000」と入力してください。	ペアリングが成功すると赤色、青色LEDの交互点滅から青色LEDの点滅になります。
マルチポイントペアリング		1. 電源OFFの状態からメインボタンを6秒間押し続けます。	赤色、青色LEDが２分間交互点滅をします。 ※１番目の機器をペアリングします。
		2．１番目のペアリングが完了したら電源をOFFにします。	※１番目にペアリングした機器のBluetoothも一度OFFにします。
		3.電源OFFの状態からメインボタンを6秒間押し続けます。	２番目の機器をペアリングします。
		4.１番目にペアリングした機器のBluetoothをONにします。	２番目のペアリングが完了してから１番目にペアリングした機器のBluetoothをONにし接続されたことを確認します。
電話をかける		携帯電話で通常の電話をかける操作をします。	※相手が電話に出たらヘッドセットへ切り替える必要があります。
ラストナンバーリダイヤル		メインボタンを短く２回連続で押します。	携帯電話の発信履歴で一番最後に発信した番号へ発信します。
ボイス機能		１.＋ボタン、－ボタンを同時に短く１回押します。	携帯電話のボイス機能が起動します。※携帯電話に機能は無い場合は作動しません。終了するにはもう一度＋ボタン、－ボタンを同時に短く１回押します。
		２．マイクに向かって話します。	音声で携帯電話の機能が呼び出されます。
電話を受ける		通常通り電話を操作します。	着信音が止み通話が始まります。
		着信音がヘッドセットより聞こえたらメインボタンを１回短く押します。	着信音が止み通話が始まります。 ※Androidの場合、ヘッドセットに予め設定されている電子音が鳴ります。
着信拒否		着信音がヘッドセットから聞こえたらメインボタンを2秒間押し続けます。	着信音が止み待機状態に戻ります。
通話を終了する		携帯電話のキーを直接操作します。	通話を切ることができます。通話が終了すると携帯電話は待機状態になります。
		メインボタンを１回短く押します。	「通話終了」の音声が聞こえ、通話を切ることができます。通話が終了すると携帯電話は待機状態になります。
通話をミュートする		通話中に＋ボタンとーボタンを同時に2秒押します。	電子音が聞こえた後通話がミュートされます。
ミュート解除する		通話ミュート中に＋とーボタンを同時に2秒押します。	電子音が聞こえた後にミュートが解除されます。
通話中のヘッドセットと携帯電話との切り替え機能		携帯電話で発信後した場合に、先方がでたらメインボタンを短く２回連続押します。	携帯電話本体のスピーカー、マイクからヘッドセットでの通話に切り替わります
携帯電話を2台接続し、１台目で通話中の場合の携帯電話の切り替え	電話を受ける	着信音がヘッドセットより聞こえたらメインボタンを１回短く押します。	１台目の通話が保留になり、２台目の通話に切り替わります。
	着信拒否	着信音がヘッドセットより聞こえたらメインボタンを２秒押します。	２台目の着信が拒否され１台目の通話が継続されます。
	通話の切り替え	通話中にメインボタンを１回短く押します。	２台目の通話が保留になり１台目の通話に切り替わります。
	通話中の電話を切る	メインボタンを短く２回連続で押します。	通話中の携帯電話の通話が終了します。
音量を上げる		希望の音量になるまで＋ボタンを繰り返し押します。	1回押すごとに3dBずつ音量が増加し10段階で変化します。最大音量になると電子音が聞こえます。
音量を下げる		希望の音量になるまでーボタンを繰り返し押します。	1回押すごとに3dBずつ音量が現象し10段階で変化します。最小音量になると電子音が聞こえます。
再生/停止		待機中にメインボタンを1回押します。	ヘッドセットと携帯電話のミュージックプレイヤーが接続状態の時にメインボタンを1回押すごとに音楽の再生/停止が可能です。機能しない場合は、携帯電話のミュージックプレイヤーを起動し、携帯電話の画面にミュージックプレイヤーを表示した状態にしてください。
曲送り		＋ボタンを2秒間押し続けます。	次の曲へ移動します。
曲戻し		ーボタンを2秒間押し続けます。	再生中の曲の最初に戻るか前の曲へ移動します。（携帯電話の仕様に異なります）

・故障かな？と思ったら

症状	チェックポイント	解決方法
電源が入らない	バッテリーは消耗していませんか？	バッテリーを充電してください。
	バッテリーが劣化していませんか？	販売店か弊社お問い合わせ窓口までお問い合わせください。
充電できない	LED が点灯・点滅する。点灯・点滅しない。	バッテリーの劣化または不良が考えられます。販売店か弊社お問い合わせ窓口までお問い合わせください。
		充電器または充電ケーブルを確認してください。
ペアリングができない	本製品がペアリングモードになっていますか？	ペアリングの操作方法を確認して再度ペアリングの操作をしてください。
	接続する機器がペアリングモードになっていますか？	接続機器の取扱説明書を確認してください
	接続する機器は、パスキー「0000」ですか？	
	接続する機器のプロファイルは本商品に対応したプロファイルですか？	
	近くにその他のBluetooth機器や他の2.4GHｚ帯の電波を使用した機器はありませんか？	ペアリングする機器以外の電源を OFF にしてください。
音が聞こえない・音量が小さい	レシーバーとスピーカーは接続されていますか？	スピーカー接続ジャックの接続状態を確認してください。
	スピーカー接続ジャックは汚れていませんか？	汚れや錆等を取り除いてください。
	ボリュームが最小になっていませんか？	スピーカーから音が出ている時にボリュームを調節してください。 ※複数の機器を接続した場合、それぞれの機器からの音が出力されている際にそれぞれのボリューム調整が必要となります。
	スピーカーの取り付け位置は、耳の位置に合っていますか？	スピーカーの位置をできるだけ耳の中心にくるように調整してください。ヘルメットの種類によりスピーカーが耳から離れてしまう場合、スピーカー位置調整用スポンジを使用してスピーカーが耳に近づくように位置を調整してください。
	接続が外れていませんか？	再度電源を入れ直すか、再ペアリング操作を行ってください。
雑音がする	静かな場所でボリュームを上げていませんか？ （シー…音＝ホワイトノイズ）	故障ではありません。走行中には聞こえない程度のホワイトノイズは常に発生します。
	接続機器との距離が離れ過ぎていませんか？	本製品の通信範囲は、見通し距離約１０m（Class2）です。１０m以内でご使用ください。 ※距離が１０m以内であっても使用する環境条件等により“プツプツ”“パチパチ”等の通信音がすることがありますが異常ではありません。
ビープ音がおかしい	接続機器がＯＦＦの状態で電源のＯＮ/ＯＦＦを行っていますか？	接続機器がＯＦＦの状態で電源のＯＮ/ＯＦＦを行ってください。機器の特性によりビープ音が変化することがありますが異常ではありません。
通信が切れる・途切れる・作動が不安定	バッテリーは消耗していませんか？	バッテリーを充電してください。
	接続機器との距離が離れ過ぎていませんか？	本製品の通信範囲は、見通し距離約１０m（Class2）です。１０m以内でご使用ください。
	近くにその他のBluetooth 機器やWi-Fi 等他の2.4GHｚ帯の電波を使用した機器または電波に影響を及ぼす機器や施設はありませんか？	電波に影響を及ぼす機器や施設から離れる。本製品と接続機器の電源を一度OFF にして再度電源をON にし接続すると改善される場合があります。それでも改善されない場合はペアリング情報を一度リセットし、再度ペアリング総裁をしてください。

・本体仕様

電源	充電式リチウムイオンバッテリー		
	550mA		
寸法・質量	レシーバー本体寸法		87.8mm×31.2mm×25.3mm
	重量	レシーバー本体	40ｇ（内蔵バッテリーを含む）
		スピーカー	20ｇ
基本情報	使用時間	定格出	約 10 時間以上
		スタンバイ	約 200 時間
スピーカー接続端子			φ3.5　3極ステレオ端子

・Bluetooth 仕様

バージョン	Ver.3.0
送信出力	Class2
最大通信距離	見通し距離約 10m※周囲の環境等により変化します。
使用周波数帯域	2.4GHz 帯（2.4000GHｚ～2.4835GHｚ）
変調方式	FH-SS
対応プロファイル	HFP
	HSP
	A2DP（SCMS-T 対応）
	AVRCP
認証コード（パスキー）	「0000」
機器名称	COOLROBO_ST

※接続するBluetooth 機器が上記 Bluetooth 標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、操作方法や表示・動作が異なる、データのやりとりができないなどの現象が発生する場合があります。
※Bluetooth 関連機器の使い方については、各機器の取扱説明書をご覧下さい。
※Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG,INC.の登録商標です。

製品の保証について

- 本商品の保証期間は購入日から１年間です。保証書の内容を良くお読みになり理解した上で商品をご利用ください。
- 本商品は厳重に管理された工場にて生産・管理しておりますが、万が一不良が発生した場合は、本商品のみの保証対象といたします。本商品以外の部品代金、修理工賃、整備等で発生した費用は保証対象外とさせていただきます。
- 外観上本体に大きな外傷、割れ等がある場合は、保証対象外とさせていただきます。予めご了承ください。
- 保証修理を依頼される場合は、購入日が書かれ販売店の押印がされた保証書または、購入が証明できるお買い上げレシート等を用意し、お買い求めの販売店または、当社お客様相談窓口までご連絡ください。ご連絡無く商品をお送りいただいても受付できない場合がありますのでご注意ください。
- 保証期間内であっても有償修理となる場合があります。予めご了承ください。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ
〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで。
営業時間　平日　午前9：00～午後6：00